

渡辺寿彦

わたなべ かずひこ。1945年横浜生まれ。法政大学法学部卒。在学中からファッション、音楽、広告、販促と、カウンターカルチャーと当時呼ばれたフィールドを猟渉。以後、SP、施工、建築、デベロッパーを経て、79年「ダブルスマーケティング」設立。「新宿タカノ」のリニューアル、「原宿ラフォーレ」の総合SP計画などを成功させた。主な仕事は「ウィング高輪」「OPA(新神戸駅前)計画」「MM 21」「MZA」など。ウォーターフロントだけでも4つのプロジェクトが現在進行している。

渡辺寿彦は「大いなる寄り道主義者」である。60年代末から70年代初頭にサブカルチャー、あるいはカウンターカルチャーと呼ばれた「文化革命」のフィールドを遍歴した彼は、道の途中で獲得した経験と知識と才能を80年代に入って一挙に花開かせることになった。かれの仕事は「フラワー・チルドレン」の世代が20年後に仕掛けた新しい文化のカウンターと見えなくもない。



●「寄り道主義だ」

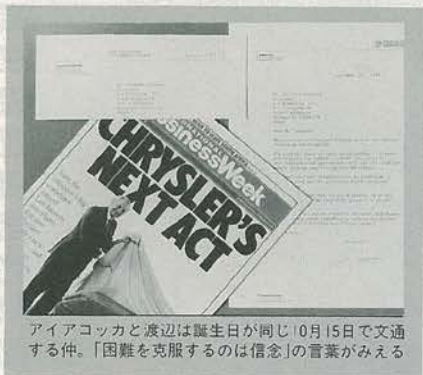
西武の最近のコピーではないが、寄り道主義というのは、ある意味で団塊の世代の一種の誇りのようなものだ。渡辺寿彦はじめ、いわゆるソフトのクリエイターたちの多くが、今日の若い世代のように一直線に目的地にたどり着くのではなくて、迂回脱線している。

しかし、そのことはおそらく、今日のような複合的な能力が求められる時代には、ますます重要なものになっていくに違いない。

●「寄り道主義だ」

第一日に退社。後にS.P.の会社（広告販売、施工ノウハウの体得）。（五）逆井清一郎氏（武蔵美大）に建築知識を個人教授してもらった（空間演出）。（六）今日の自分のような人たちへ弟子入り（プロデュース、マネジメント）。（七）帽子のクチュール（ジャンバルテ、フランスのデザイナー。平田暁夫氏が師）でお針子（美しいもののへの傾注）。（八）都市開発の会社へ（デベロップメント）。（九）森ビル開発（役員待遇）（現在につながるすべて）見事といえそうなる遍歴である。そして、この遍歴の複合が

広く旅してきた「団塊世代」男が 繰り広げる 「ダーバン・リゾート・テースト」の 環境・施設・都市づくり



アイアコッカと渡辺は誕生日が同じ10月15日で文通する仲。「困難を克服するのは信念」の言葉がみえる

●「通訳から帽子づくりのお針子まで」

渡辺寿彦が学生時代から自社開業までに行った主な仕事は、次のようである。

（一）東京オリンピック時に通訳（組織力、交渉力、機敏性）。（二）六大学、関西、東北

の大学に「服飾研究会」を組織、アソシエーション化する（組織力、交渉力、機敏性）。

（三）ファッション・エリアとのつながり。（四）大学二年のとき、三木鶏郎事務所へ。コピーライター志望だったが、撮影助手などアシスタントを（マスコミ、広告宣伝

の世界を体得）。（五）大手広告代理店を出社

（六）大手広告代理店を出社

しかし「45歳までの会社設立は、ハードに手をつけなさい」と公言しているという。「45歳まではソフトに徹する。それ以後はどうかかわりませんけど」

●「わが発想の源」

施設のソフトの発想の源は？と聞いたら「どんな仕事も情景で考えている」と渡辺はいつた。かれと会社の名をポピュラーにした品川駅前の「ウイング高輪」も立地としては、いまでこそウオーターフロントの付加価値値つぎになったが、「川崎の入口といったほうが正確なとらえ方で、夜ともなれば屋台がたまって、酔漢がゲロを吐いているところ」だった。それでもやろうと思つたのは「視界のなかに電線が一本もなかったこと」「ホテル・アメニティがあつたこと」と「慶応も明学もある。高輪地区なら、自分が想定する来客者もこれらなんじやないか」と考えたからという。

●「仕事を受けるか断るかの規準」

「やはり一条の光がないものは受けられない。市川市の「ニッケコルトンプラザ」にしても神戸の「オーパ」にしても、社内がみんな逃げたプロジェクト」だったが、担当の開発部長氏が一条の光でできた仕事だという。

「金はある。場所もいい。自社のためにやってくれ、そういう仕事には興味がない。自治体とか企業利益のためではなく、やはりそこを利用する人たちのために仕事をしたい」

●「コンセプトは、ホスピタリティ」

施設の規模とか予算の大小とかより、プロトタイプであるとかユメにチャレンジする部分がないものには気が向かないという。「アイアコッカと同じ誕生日で、手紙のやりとりをしているんですが、困難を克服するのはその人の信念なのだ」といっています。人を動かすのは利益のみではないのです。

●「ダブルス・グループ、そして引退」

これからはホスピタリティの求められる時代だ、と渡辺は読んでいる。「これからのクリエイター、プランナーはもうそんなに頑張らなくて建物とかハイテクをつくらなくてもいい。むしろホスピタリティのデベロップメントを考えるべきだと思う。もう外国に学ぶべきものは何も無いというほうがいまウケるが、ホスピタリティに関しては、われわれはまだまだ発展途上です」

●「ダブルス・グループ、そして引退」

渡辺寿彦は㈱ダブルスマーケティングの社長以外に、グループ、系列八つの組織の会長、取締役を兼任している。（㈱ダブルスワークはS.P.関係を、㈱シンクテリアはダブルスの子会社的存在で同列の仕事をしている。㈱ダブルスウェイブは環境、設計のプロデュース会社。㈱イルクはレジヤールとリゾートのプロデュースとコンサルタントで、㈱OTPは異業種のシンクタンク……つまり完全に自分たちの考えるプランの実現できる体制づくりがされている。）そして50歳で引退して、60歳でこの世にツケなして、浴衣一枚でふわふわと死にたい。そのためにいま、最善をつくしているのです」

AN INVESTMENT BINGE
SOUTHEAST ASIA
PAGE 28

THE RUSH TO LEAVE SOUTH AFRICA PAGE 18

INTERNATIONAL BusinessWeek

NOVEMBER 3, 1986

A MCGRAW-HILL PUBLICATION

CHRYSLER'S NEXT ACT

ure, the
ompany's big
omeback
rned
ee Iacocca
to a hero.
ut now
hrysler
eeds a new
rategy—and
cocca has
enty of ideas.



SE 48

A \$2.50 DENMARK D. KR. 21.00 GERMANY DM 5.50 HONG KONG HK \$22 LUXEMBOURG L. FR. 110 SINGAPORE S. \$5.00 SWITZERLAND S. FR. 4.50
SCH 35 FINLAND F. MK. 12.50 GREECE DRGS. 240 ITALY LIT. 4,000 MALAYSIA M. \$5.50 SPAIN PTS. 335 UNITED KINGDOM £1.25
B. FR. 120 FRANCE F. FR. 16.00 HOLLAND FL. 5.80 JAPAN Y. 800 NORWAY N. KR. 16.00 SWEDEN S. KR. 21.65 UNITED STATES US \$2.00



L. A. Iacocca
Chairman of the Board
Chief Executive Officer

October 27, 1986

Mr. Kazuhiko Watanabe
President
W's Marketing, Inc.
Silva Kingdom 4F
3-16-3 Sendagaya
Shibuya-Ku Tokyo 151
JAPAN

Dear Mr. Watanabe:

Thank you for writing and telling me that you enjoyed reading my autobiography.

I'm glad you found my story so satisfying. It shows the truth of the lesson I learned very early on -- that hard work and perseverance will pay off, and that people working together can move mountains.

I appreciated your thoughtfulness in sending me a birthday card and the attractive black lacquered jewelry box.

While I'm honored that you would like me to be the chairman of your "October 15th" group, I'm afraid I have to decline.

I hope you also had an enjoyable birthday, and thanks for your kind words regarding my work on the Statue of Liberty/Ellis Island Restoration project.

Best wishes.

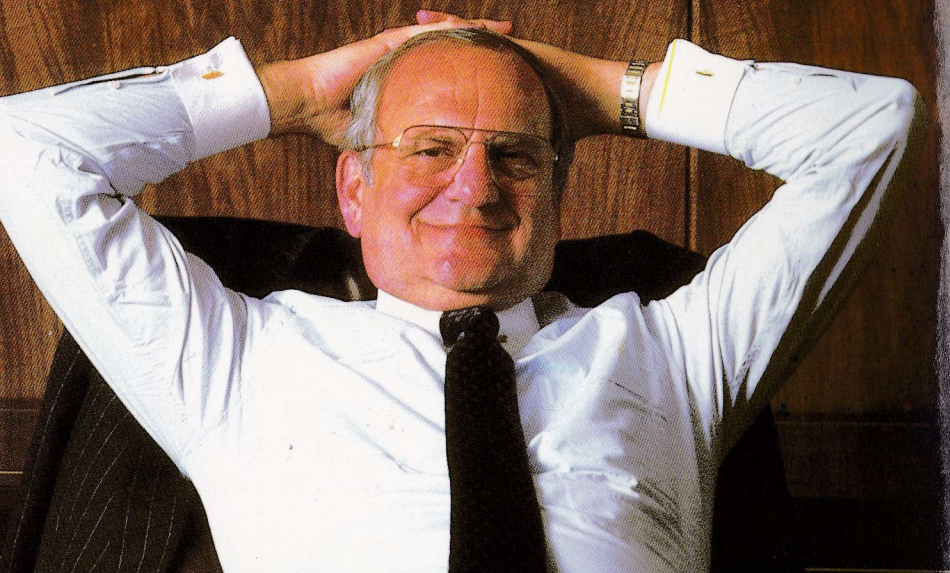
Sincerely,

Chrysler Corporation
12000 Chrysler Drive
Highland Park MI 48288-1919

IACOCCA アイアコッカ

わが闘魂の経営

リー・アイアコッカ 徳岡孝夫 訳



IACOCCA わが闘魂の経営 アイアコッカ



「よく考えてほしい。

過去の50年は、来たるべき50年の指針になり得る。

さらに、過去の50年は、われわれに

正しいことと曲ったことの違いを教え、

勤勉のみが成功への道であることを教えた。

世の中にタダめしは存在しないことを教え、

生きていくためには生産しなければならないことを教えた。

そのような教訓こそ、

アメリカを偉大にしてきた価値観なのである」

リー・アイアコッカ

クライスラー再建、アメリカ産業界の再活性化

ダイヤモンド社

奇跡を起こした男の 壮絶な生きざま!!

本書を推す◎

城山三郎氏

◎—「トップの人間くさいドラマの数々が、企業の盛衰をもたらす。興味深く示唆に富む書。いかにもアメリカ的な著者の個性の強さには、感心もし辟易もした」

リー・アイアコッカ
徳岡孝夫 訳

ダイヤモンド社

32011X

全米で超ベストセラー!!〈発売5週間で100万部突破の新記録〉

- 記憶にあるかぎり、経営者がかつてこのような回想録を書いたことはない。記述は経営の核心に迫り、企業の内幕をえぐる。——ハブリッシャーズ・ウィークリー
- “アメリカン・ドリーム”を求め、実現するスリリングな半生の物語。実に感動的。——ビジネス・ウィーク
- 奇跡を起こした経営者が、いま自ら明かす奇跡の内幕! アイアコッカこそアメリカン・ヒーローだ。——ニュース・ウィーク
- ビジネスの世界を目指す子弟を持つ、すべての母親が、本書をクリスマス・プレゼントとして、その子らに与えたいと思うだろう。——ニューヨーク・タイムズ
- 最高のビジネス書。ビジネスの奥深さ、面白さをとことん味わわせてくれる。——フォーチュン

ISBN4-478-32011-X C2034 ¥1800E

定価—1800円

アイアコッカ

IACocca
わが闘魂の経営



リー・アイアコッカ
徳岡孝夫 訳

ダイヤモンド社
32011X



「よく考えてほしい。

過去の50年は、来たるべき50年の指針になり得る。

さらに、過去の50年は、われわれに

正しいことと曲ったことの違いを教え、

勤勉のみが成功への道であることを教えた。

世の中にタダめしは存在しないことを教え、

生きていくためには生産しなければならないことを教えた。

そのような教訓こそ、

アメリカを偉大にしてきた価値観なのである」

A handwritten signature in red ink that reads "Lee Iacocca".

リー・アイアコッカ

ISBN4-478-32011-X C2034 ¥1800E

ダイヤモンド社
定価—1800円